

鉱工業指数参考図表集
(平成28年11月速報)

平成28年12月28日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年11月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

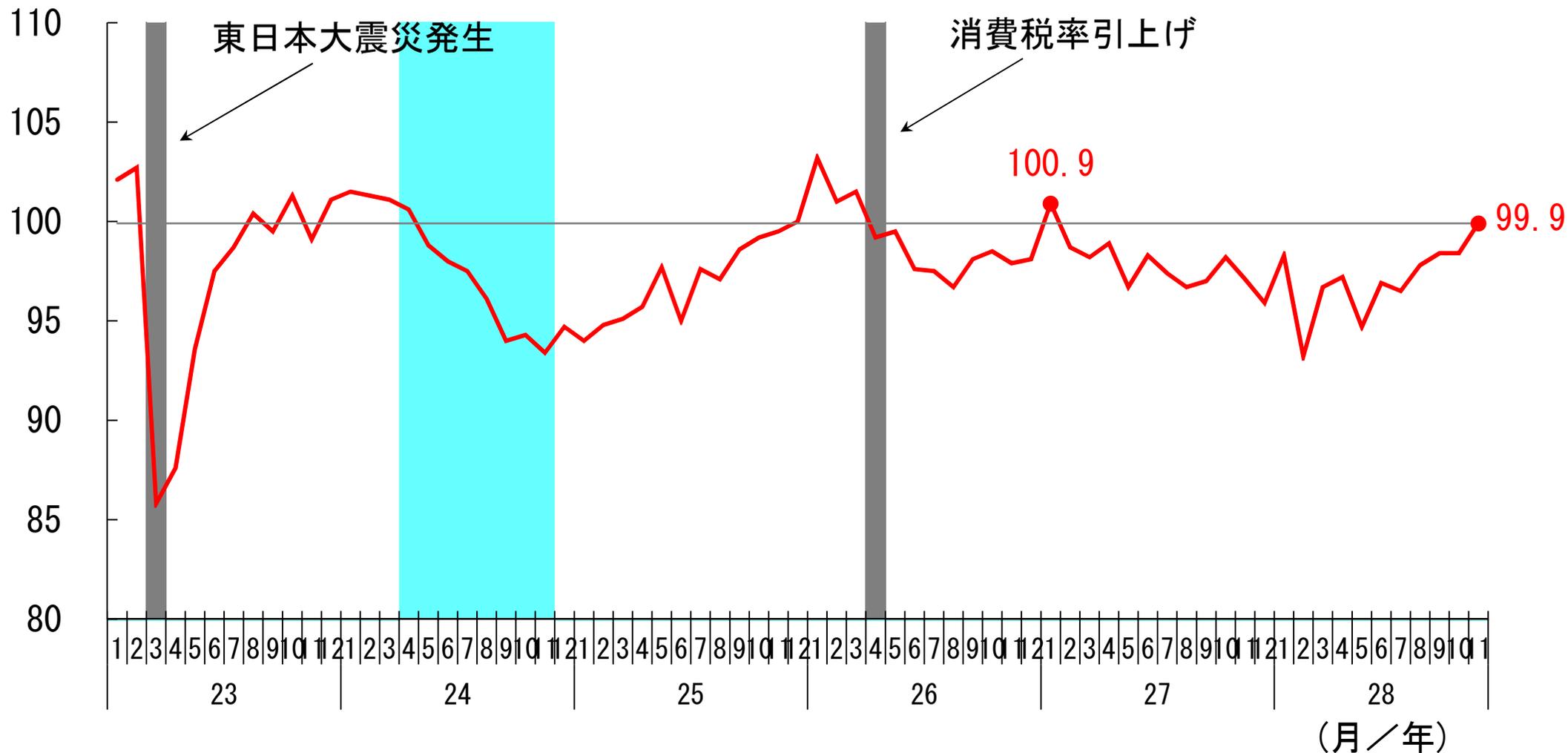
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	99.9	99.2	107.0	107.9
前月比	1.5%	0.9%	-1.5%	-5.5%
指数水準	H27.1 100.9以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H27.1 100.5以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H26.4 106.7以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H26.4 105.6以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月ぶり+ (H28.9以来)	3か月連続+ (H28.9~当月)	3か月連続- (H28.9~当月)	2か月連続- (H28.10~当月)
前月比幅	H28.6 2.3%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H28.10 2.0%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H28.10 -2.1%以来 ①H23.3 -5.8% ②H21.2 -3.9% ③H21.3 -3.1%	H23.6 -11.7%以来 ①H23.6 -11.7% ②H21.6 -6.7% ③H21.3 -6.0%
前年同月比(原指数)	4.6%	5.0%	-4.8%	-6.6%
前年同月比の動き	2か月ぶり+ (H28.9以来)	2か月ぶり+ (H28.9以来)	5か月連続- (H28.7~当月)	2か月ぶり- (H28.9以来)
前年同月比幅	H26.3 7.4%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H26.3 6.5%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H25.11 -5.1%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H26.2 -8.4%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

(注) I~IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- ・平成28年11月の鉱工業生産指数は、99.9(前月比1.5%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成27年1月の100.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。

平成28年11月の鋳工業生産の基調判断

「生産は持ち直しの動き」

基調判断の推移

- 平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- 平成27年8月
「生産は弱含み」
- 平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- 平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- 平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成28年11月
「生産は持ち直しの動き」

※ 上方修正は平成28年8月以来
今月の表現は、平成26年3月以来、2年8ヶ月ぶり

鋳工業生産指数

四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

		指数	前期比 (%)
平成27年	Ⅲ期	97.0	-1.0
	Ⅳ期	97.1	0.1
平成28年	Ⅰ期	96.1	-1.0
	Ⅱ期	96.3	0.2
	Ⅲ期	97.6	1.3
	Ⅳ期	(100.1)	(2.6)

(注)

上記の平成28年Ⅳ期の()及び右表の平成28年11月、12月の()内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鋳工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鋳工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したものの。

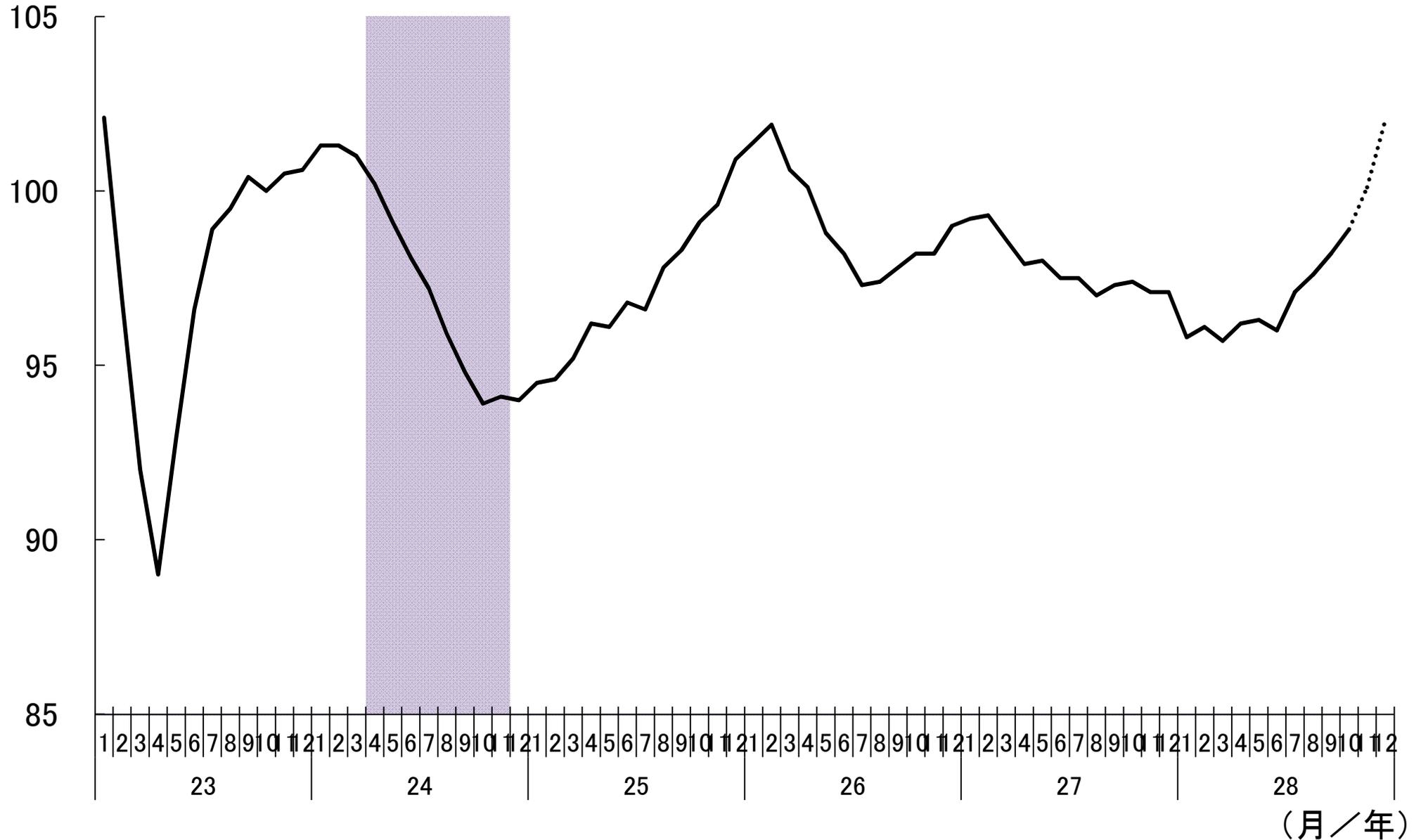
月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

		指数	前月比 (%)
平成26年	12月	99.0	0.8
平成27年	1月	99.2	0.2
	2月	99.3	0.1
	3月	98.6	-0.7
	4月	97.9	-0.7
	5月	98.0	0.1
	6月	97.5	-0.5
	7月	97.5	0.0
	8月	97.0	-0.5
	9月	97.3	0.3
	10月	97.4	0.1
	11月	97.1	-0.3
	12月	97.1	0.0
平成28年	1月	95.8	-1.3
	2月	96.1	0.3
	3月	95.7	-0.4
	4月	96.2	0.5
	5月	96.3	0.1
	6月	96.0	-0.3
	7月	97.1	1.1
	8月	97.6	0.5
	9月	98.2	0.6
	10月	98.9	0.7
	11月	(100.1)	(1.2)
	12月	(102.0)	(1.9)

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

（22年＝100、季節調整済）



（注）紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成28年11月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	3.3%	32.3%
	品目	産業用ロボット	16.8%	10.6%
		計測機器	9.2%	6.5%
	2位の業種	輸送機械工業	2.0%	25.5%
	品目	自動車部品	2.8%	13.0%
		乗用車	2.0%	10.2%
3位の業種	電気機械工業	5.5%	23.6%	
品目	回転電気機械	9.3%	6.3%	
	電気計測器	14.9%	6.0%	
鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	窯業・土石製品工業	-0.9%	-1.9%
	品目	ファインセラミックス	-1.5%	-0.8%
		ガラス・同製品	-0.8%	-0.7%
	2位の業種	プラスチック製品工業	-0.3%	-1.0%
	品目			
	3位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	-0.5%	-0.7%
品目	板紙	-2.9%	-0.6%	
	紙	-1.2%	-0.6%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成28年11月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	集積回路	9.2%	19.1%
	2位	自動車部品	2.8%	13.0%
	3位	産業用ロボット	16.8%	10.6%
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	化粧品	-4.4%	-9.1%
	2位	土木建設機械	-3.8%	-4.0%
	3位	生活関連産業用機械	-9.3%	-3.6%

<財別＝用途別>

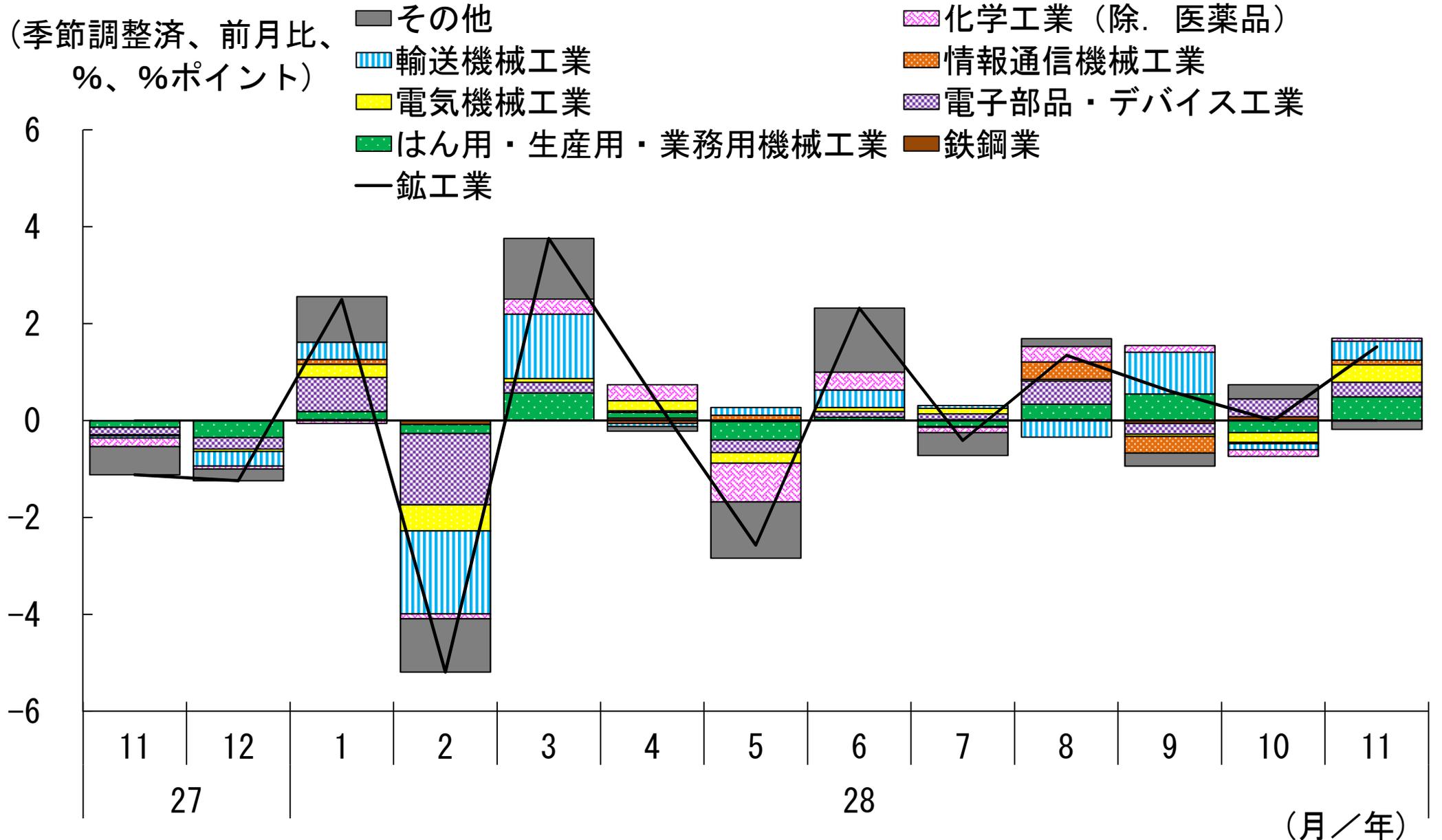
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.2%	70.7%
		駆動伝導・操縦装置部品	5.4%	8.5%
		モス型半導体集積回路（CCD）	14.0%	6.6%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	4.0%	40.8%
		数値制御ロボット	25.2%	7.8%
		外部記憶装置	44.3%	5.1%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	2.7%	18.3%
		普通乗用車	2.1%	7.3%
		小型乗用車	8.0%	5.9%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-0.7%	-2.6%
		エレベータ	-14.1%	-1.2%
		プラスチック製建材	-7.9%	-0.8%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-1.4%	-13.4%
		モイスチャークリーム	-21.6%	-5.0%
		化粧水	-10.2%	-3.4%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産指数への業種別寄与度分解

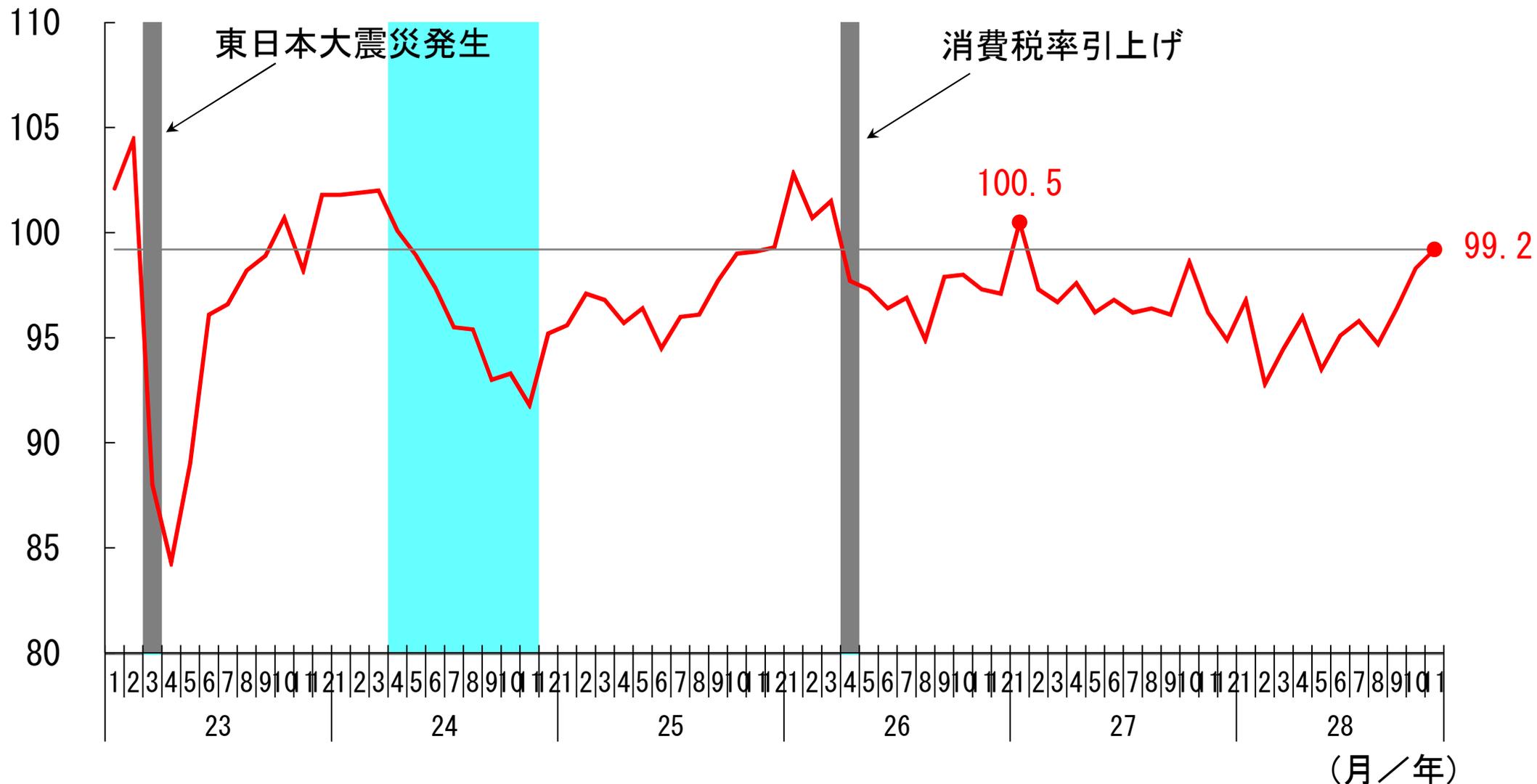
- 平成28年11月の生産指数は、鉄鋼業が低下したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したため、前月比1.5%の上昇。



鋳工業出荷指数の動向

- ・平成28年11月の鋳工業出荷指数は、99.2(前月比0.9%)と3か月連続の上昇。
- ・平成27年1月の100.5以来の指数水準。

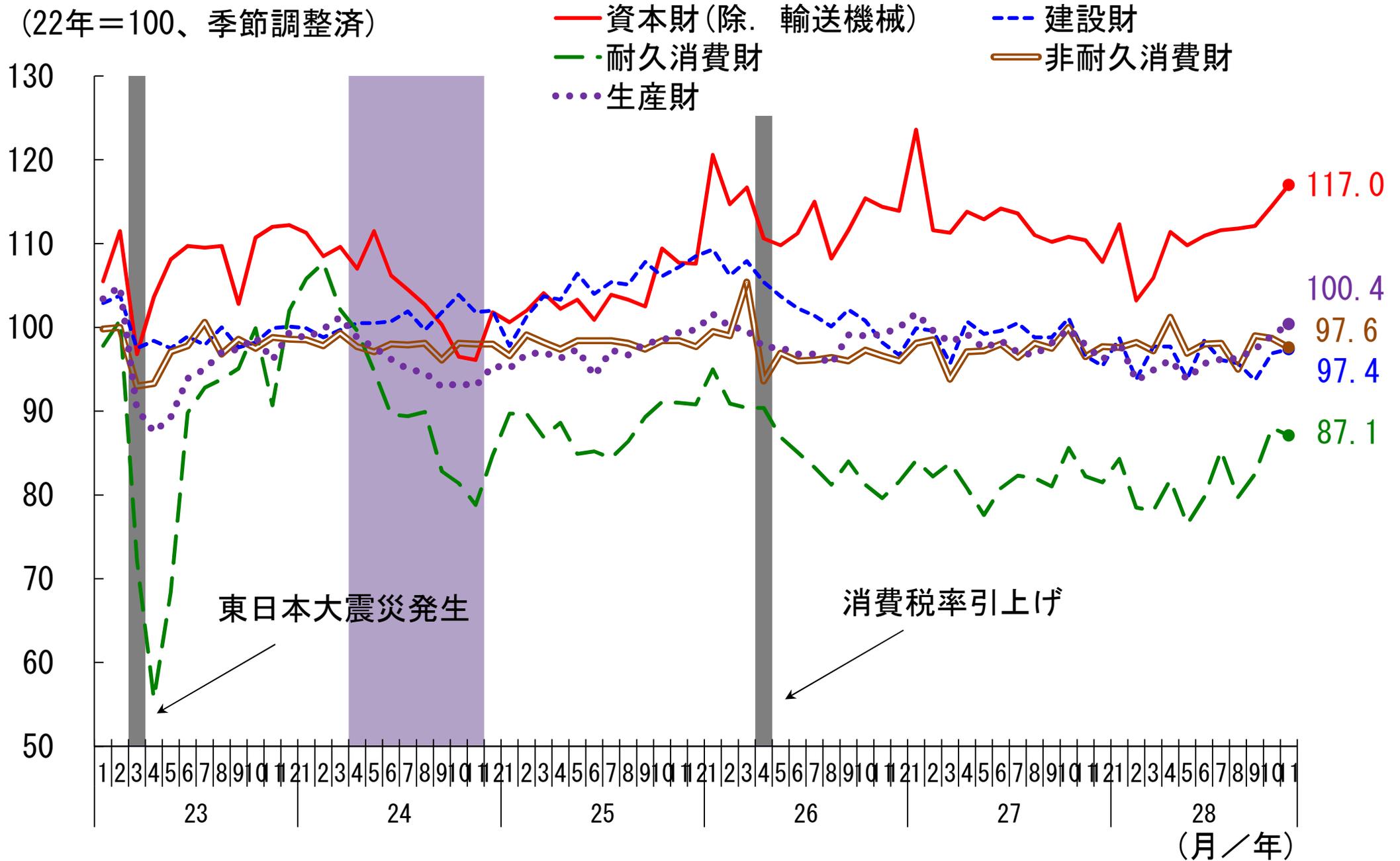
(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成28年11月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

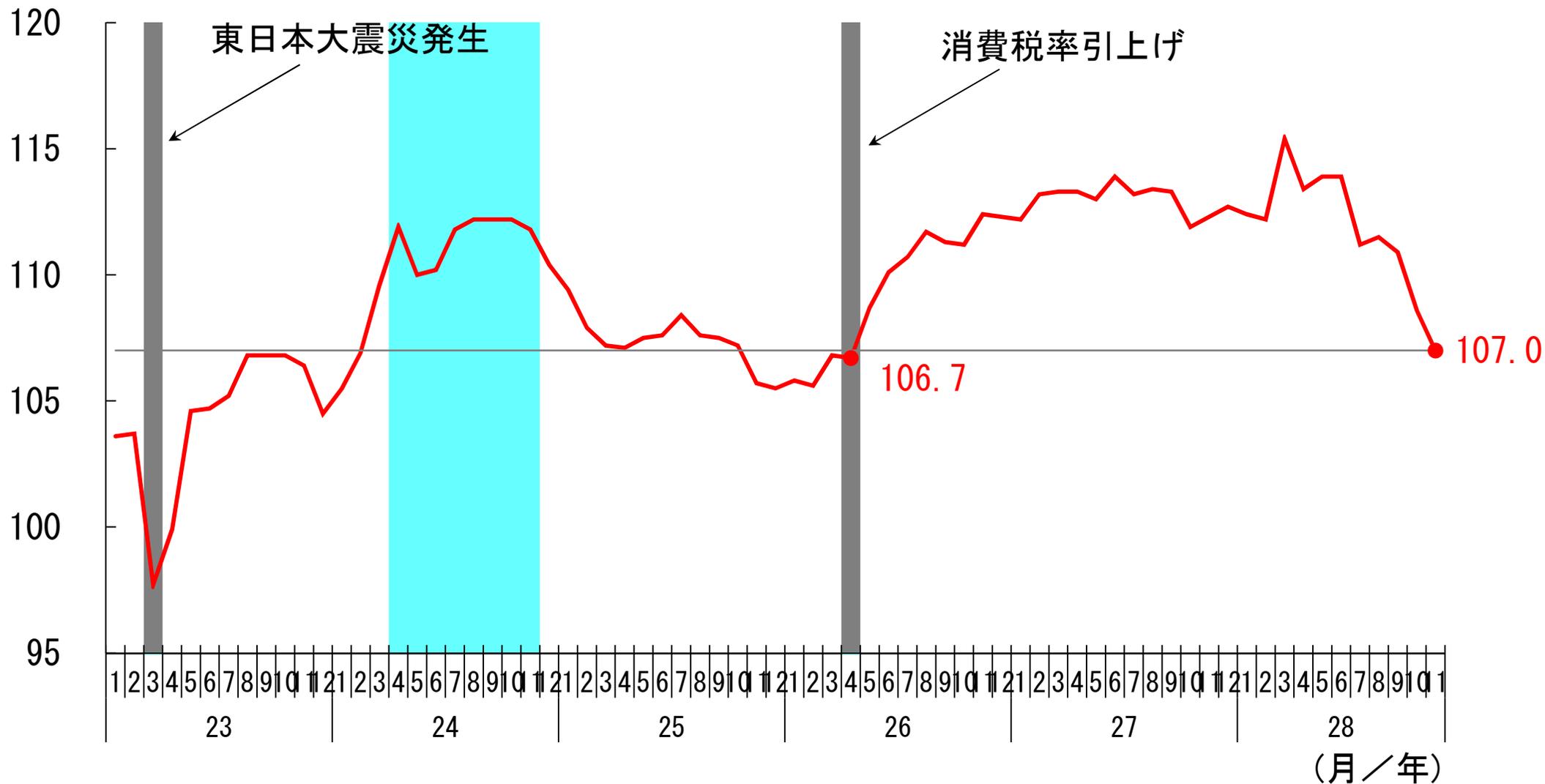
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	1.4%	78.3%
		駆動伝導・操縦装置部品	6.0%	15.2%
		電気金	32.5%	6.1%
資本財	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	2.2%	32.7%
		一般用蒸気タービン	58.1%	11.1%
		数値制御ロボット	25.0%	8.9%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	0.5%	3.1%
		小形棒鋼	6.0%	1.8%
		ビル用アルミニウムサッシ	6.8%	1.7%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	-1.1%	-14.2%
		ガソリン	-5.0%	-9.7%
		合成洗剤	-6.0%	-2.9%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	-1.0%	-15.2%
		普通乗用車	-5.2%	-42.7%
		軽乗用車	-3.8%	-4.1%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

- ・平成28年11月の在庫指数は、107.0(前月比-1.5%)と3か月連続の低下。
- ・平成26年4月の106.7以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

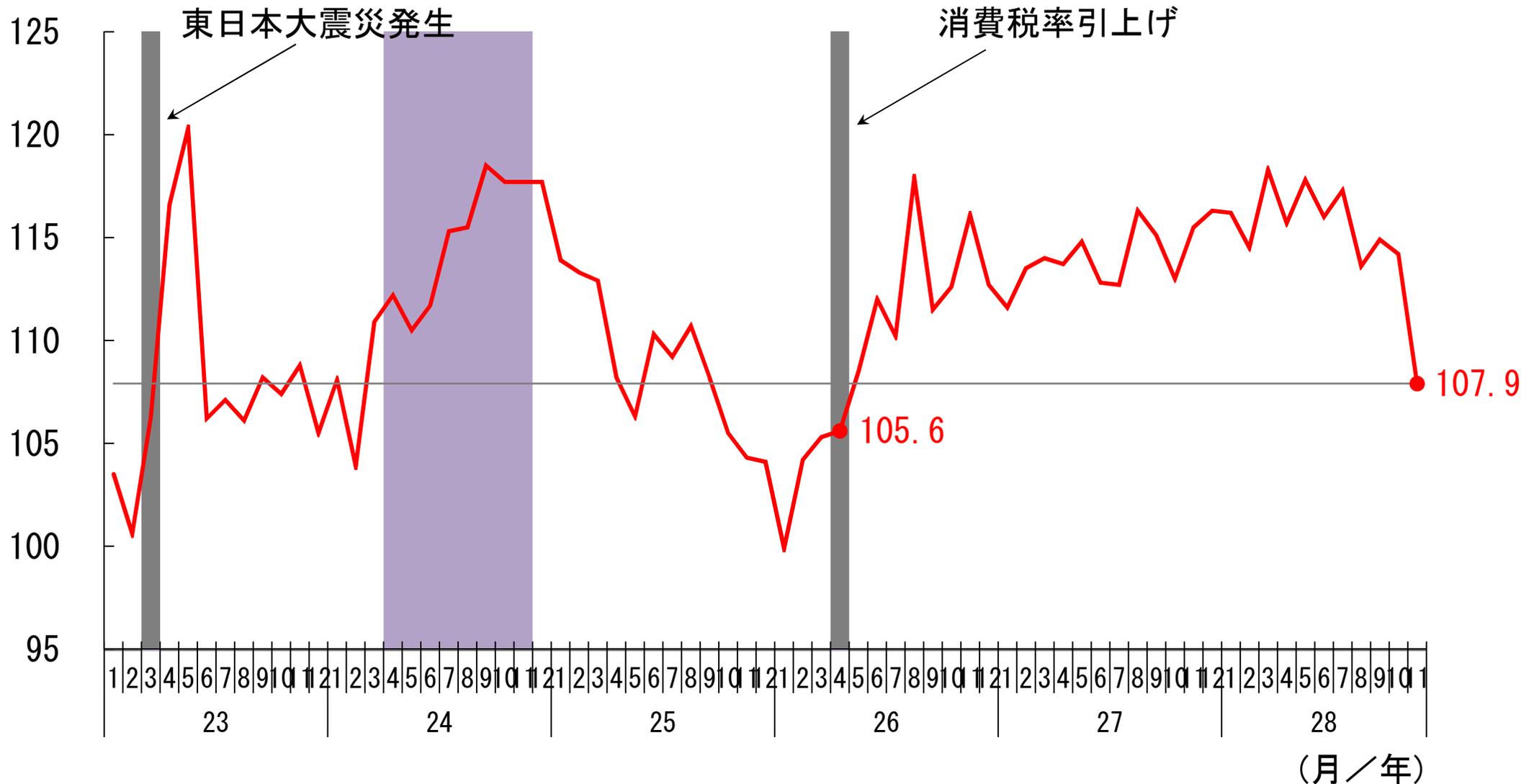


(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋳工業在庫率指数の動向

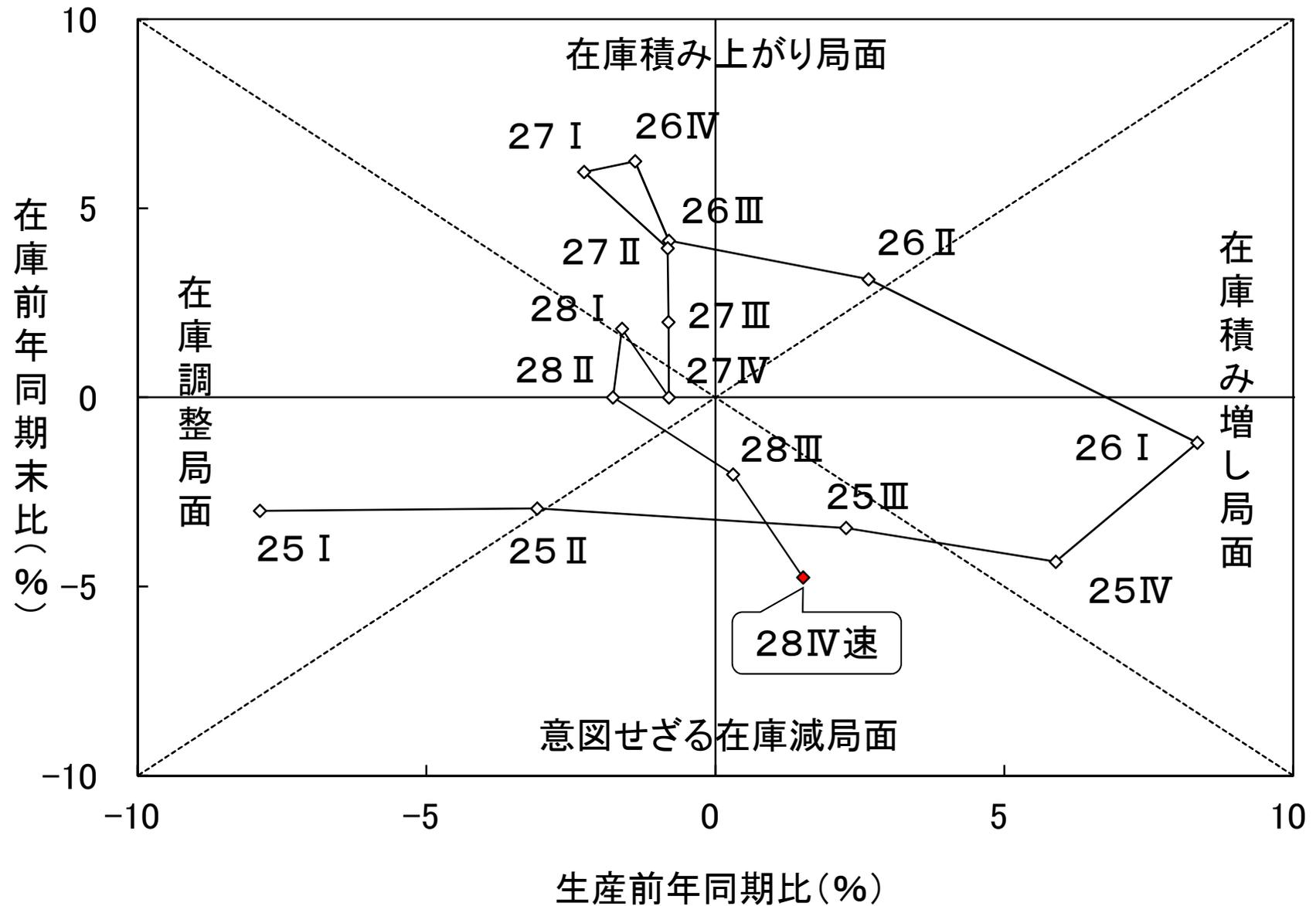
- ・平成28年11月の在庫率指数は、107.9(前月比-5.5%)と2か月連続の低下。
- ・平成26年4月の105.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「28IV速」の生産は10月と11月の平均値、在庫は11月末値を使用。

製造工業生産予測指数

12月、1月の2ヶ月の生産予測伸び率

